

## 18. 科学のおもしろさとワクワクを青少年に伝える 教育活動

グループ名 サードボックス

代表者 泉 太貴

### ① 活動の目的

- ・ ノーベル賞受賞者の発表の季節に、2日間限定の手作り科学館をつくる
- ・ 子どもたちを対象にサイエンスやテクノロジーのおもしろさを伝える
- ・ 理科離れの社会課題に対して、解決策の一案を提示する
- ・ 三原の地域活性化に寄与する

### ② 活動概要

わが国は、ノーベル賞受賞者を多く輩出しており、基礎研究の分野について世界から尊敬を集めている。

しかし、子どもたちの理科離れが社会課題として叫ばれて久しい。また、都市部では科学館や博物館が充実しているため、子どもたちの科学技術に触れる機会が多いといえるが、地方都市ほど最先端の科学技術やものづくりを体験する機会は少ないのが現状である。

そこで、私たちサードボックスは、子どもたちにサイエンスやテクノロジーのおもしろさを伝えるために、サードボックスがもつ知恵と工夫をふり絞った手作りの科学館“ミハラサイエンス遊園地”を、三原で開催した。

開催時期をノーベル賞受賞者発表の時期と合わせることで、本庶佑先生がノーベル生理学・医学賞を受賞された直後のタイミングと重なり、地域の関心度の高い取組となった。子どもたちのサイエンスやテクノロジーに対する好奇心や関心度が高まったことは、会場に来てくれた子どもたちの笑顔をみることで実感できた。

ミハラサイエンス遊園地では、「楽しい」「ワクワクする」を創り、その上でいかに原理や法則があるのか、ということ伝える教育的なコンテンツの提供につとめた。なによりもまず楽しんで科学が好きになるような、環境づくりをボランティアの仲間とともに力をあわせて行った。

推定参加者数は、子どもと保護者を含めて700名となった。参加者を対象とするアンケート結果によれば、参加者の8割は三原市内からで、その他は、東広島市、尾道市や福山市等近隣自治体からだった。盛況の教育イベントとなった。

- ✓ 以下が、イベントの開催日時や場所等の概要である。

イベント日時：2018年10月13日（土）、14日（日）10：00～16：00

活動場所：アクションセンターミハラ

（三原市城町1-12-5 エムセックビル2階）

対象：小・中学生

参加費：無料（※申込不要）

URL：<https://www.rofrec.jp/yuenchi>

- ✓ ミハラサイエンス遊園地の出展ブースの詳細を次に示す。

- ◆ プログラミングブース
- ◆ VR体験ブース
- ◆ 手づくりサイエンス実験ブース
- ◆ ドローン飛行体験ブース
- ◆ セグウェイ試乗体験ブース
- ◆ Google アース旅行体験ブース（3Dマウス使用）
- ◆ ノーベル賞クイズショー
- ◆ アースボール体験ブース

- ✓ なお、イベント開催に向けた準備は、ミハラサイエンス遊園地実行委員会をたちあげて行ってきた。

5月：実行委員会体制づくり、大人向けチラシの作成および配布

7月：ミハラサイエンス遊園地の出展ブースの方向性の確定

8月：子供向けチラシとポスターの作成および配布

9月：ポスター設置作業、プレスリリース配信

10月：イベント開催

- ✓ 以下、活動の様子を写真つきで示す。

ミハラサイエンス遊園地は、三原市の広報誌「広報みはら12月号」でも紹介された。

写真はノーベル賞クイズショーの様子。



▲「ノーベル化学賞を受賞した鈴木 章さんはどんな発見をしたでしょう」。科学や技術をテーマにしたイベントで、子どもたちがクイズに挑戦しました（10/13 ミハラサイエンス遊園地 アクション・センター・ミハラ）

ミハラサイエンス遊園地実行委員会で、手づくりで会場設営をおこなった。



プログラミングブースでは、コミュニケーションロボットを用いる体験をおこなった。



手づくりサイエンス実験は、片栗粉をつかう等、身近な生活の中の科学を体験する内容を行った。



いずれのブースも大好評で、イベントの開催中は常に人が絶えなかった。



終了時に、委員会のメンバーと記念撮影。既に次回開催に向けて議論は始まっている。



最後になりましたが、このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

### ③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	ポスター印刷代 (A3×100部)	5,940円
	子供向けチラシ印刷代 (A4×8000部)	12,290円
	大人向けチラシ印刷代 (A4×300部)	1,404円
	イベント保険代	16,392円
	会場使用料	20,000円
	会場設営費 (紙、インク、紐、板等購入費)	18,992円
	VR 関連機材費 (3Dモデリングソフト)	15,380円
	手作り実験費	7,705円
	ノーベル賞クイズ大会の景品代 (お菓子代)	7,846円
	合 計	105,949円